

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 1 1 4
平成 20 年 1 月 24 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

情報モラル(7)

実際に私が行っている、ビデオクリップを使った情報モラルの授業について、紹介します。

使っているのは、「特集！メディアのABC」という番組を私が録画()したもので、2002年から2003年にかけて何回かNHK教育テレビで放映されたものです。

これは、あくまでも私が行った授業で、一つの例に過ぎません。また、これがいい授業だとして紹介しているのでもありません。参考程度にお読みください。

これは、『ケータイ・ネット社会の落とし穴』シリーズ Vol. 1(DVD)として市販されています。

クリップは三つあって、「掲示板」「電子メール」「個人情報」。登場するのは小学校高学年で、イラストやアニメではなく、実写版です。それぞれのストーリーは次のようになっています。

「掲示板」: アイドルグループのファンサイトで初めて掲示板に書き込んだ女の子が、さんざんたたかれ気落ちしていたところに、女子大生と名乗る人から掲示板で優しい言葉をかけられ、仲良くなって、自分の友達もいっしょにコンサートに行く約束をし、家族に内緒で出かけるが、…

「電子メール」: 不用意に、友だちからもらったメールを転送してしまったため、けんかの種になった。(携帯メール)

「個人情報」: 有料のアダルトサイトにアクセスしようになった後、不審な請求メールが届き、身に覚えがないために、そこに住所名前を書き込んで返送。以降、架空請求などの郵便が大量に届くようになる。

「掲示板」の場合だと、初めに、インターネット上の掲示板と、教室や廊下の掲示板との共通点と相違点を説明、次にビデオクリップを視聴。ワークシートを配って、インターネット上の掲示板について、ビデオから思った、よい点とそうでない点を書き出して、発表してもらい、それぞれについて、同じ性質(たとえば匿名性)が、いい面と悪い面の両方を持っていることと、その対処法を説明。また、掲示板に関連したいくつかの言葉について説明し、最終的には、困ったときには家族や先生など、大人に助けを求めることが大切であることがわかるようにします。

それぞれで説明するキーワードは、次のようなものです。

「掲示板」: なりすまし、オフ会、個人情報、誹謗中傷、チャット・インスタントメッセージ、フォーラム、ブログ、レス、あらし

「電子メール」: 返信、転送、コピーと貼り付け、著作権、件名、署名、チェーンメール、文字と記号のコミュニケーション、信憑性

「個人情報」: 迷惑メール、発信者、メールに書かれたアドレス、返信、正規のアドレス、ポップアップウィンドウ、SSL、架空請求、フィッシング詐欺